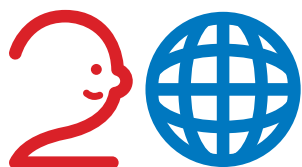


ありがとう20年、
これからも共に世界と

JICA北海道

20年の軌跡



ありがとう20年、
これからも共に世界と
JICA北海道



ご挨拶

1996年4月札幌、帯広に北海道国際センターがオープンして以来、皆様のお蔭で20周年を迎えることができました。開設から現在に至るまで、道内各地の皆様から賜ったご厚情、ご支援に対し、心より御礼を申し上げます。

これまで道内で受け入れた研修員の累計は約14,000名にのぼっています。農林水産、環境保全等北海道の有為性や特性を活かした研修コースは各国からの参加者から高い評価を受けており、各研修員はその成果を活かして帰国後に其々の国が直面する課題の解決に取り組んでいます。また、多くの研修員が「JICA帰国研修員同窓会」の会員となり、我が国と各国との相互理解や友好親善を深めるための活動を継続していることも心強い限りです。

50周年を迎えた青年海外協力隊をはじめとするJICAボランティアについても、これまで2,000名超の皆さんが道内から派遣されました。帰国後も任国での経験を元に社会還元や地域活性化等に取り組んでおられます。多くの経験者の方々は、其々の体験を開発教育の一環として地元小中学校や地域の皆さんに対して紹介頂いており、北海道地域の国際化をさらに進める上で大きな力となっています。

我が国は人口減少、過疎化等の課題に直面しており、道内でも各自治体が策定した総合戦略に基づいて課題解決のための様々な取組が進んでいます。地方創生や地域活性化のためにJICAができることは限りがありますが、各国からの研修員との交流やボランティア経験者のネットワークなどを大いに活用しながら、少しでも道内各地域の振興のお手伝いをするにより、これまでの御恩返しができるれば幸いです。

引き続き、皆様のご理解とご支援をお願い申し上げます、ご挨拶に代えさせていただきます。

2017年3月

独立行政法人国際協力機構
北海道国際センター所長
松島 正明



INDEX

P03 研修員受入事業

地域別研修員受入実績
研修員受入上位国
分野別研修員受入実績
研修員受入人数
JICA北海道における技術研修員の
主な受入研修コース

P11 草の根技術協力事業

草の根技術協力事業の事業形態
JICA北海道 札幌の実施事例
JICA北海道 帯広の実施事例

P13 中小企業海外展開支援事業

P14 JICAボランティア事業

ボランティア派遣実績

P17 JICA北海道 国際センター 20年の軌跡

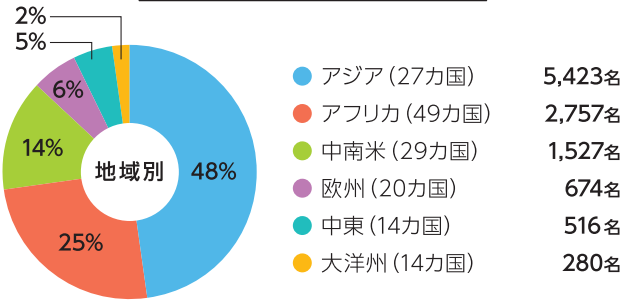


研修員受入事業

研修員受入事業は、主に日本国内を現場として、開発途上国の様々な課題解決を後押しする我が国の技術協力事業の一つです。我が国の政府開発援助の最初の事業として1954年に開始されて以来、国内各層に支えられて事業が発展し、今日では年間約1万人の開発途上国の国づくりを担うリーダー達が、この事業に参加しています。

地域別研修員受入実績

2000年～2015年度



研修員受入上位国

2000年～2015年度

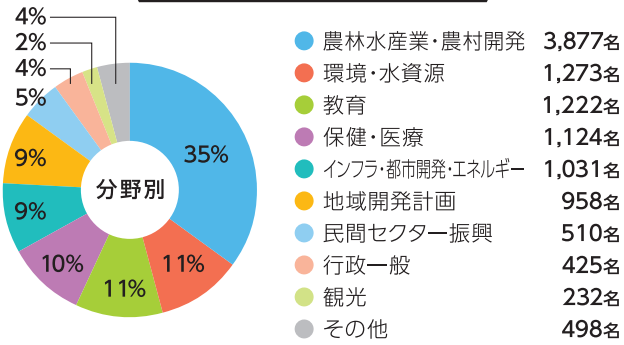
地域	国名	人数	
1	アジア	中華人民共和国	547名
2	アジア	モンゴル	478名
3	アジア	ベトナム	446名
4	アジア	キルギス	403名
5	アフリカ	マラウイ	284名
6	アジア	マレーシア	283名
7	アジア	インドネシア	280名
8	アジア	タジキスタン	276名
9	アフリカ	ザンビア	245名
10	アジア	ウズベキスタン	241名

*地域区分はJICAの規定に準ずる



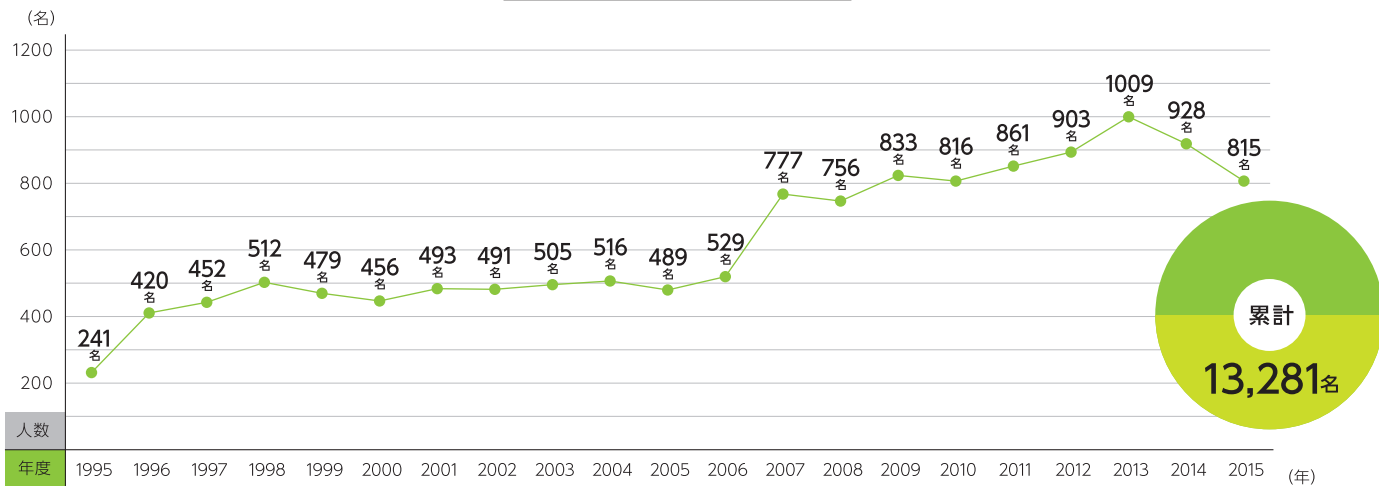
分野別研修員受入実績

2000年～2015年度



研修員受入人数

1995年～2015年度



JICA北海道における技術研修員の主な受入研修コース

主な研修コース	受入期間 実績開始 年度	受入期間 実績終了 年度	国名	所管 担当 部署名	主な委託および実施機関
酪農振興・検査技師	1987	2003	ザンビア、シリア、スリランカ、タイ、ネパール、ブータン、ブルガリア、フィリピン、エチオピア、グアテマラ、バングラデシュ、ボリビア、エジプト、ケニア、トルコ、マケドニア旧ユーゴスラビア共和国	帯広	帯広畜産大学
湿地環境及び生物多様性保全	1994	2003	エストニア、インドネシア、タイ、パラグアイ、フィリピン、ブラジル、マレーシア、中華人民共和国、チリ、ベトナム、ペルー、ガーナ、コロンビア、ジンバブエ、ベナン	帯広	釧路国際ウェットランドセンター
上級原虫病研究	1995	2004	ガーナ、ケニア、コロンビア、ザンビア、タイ、タンザニア、ボリビア、中華人民共和国、カンボジア、インド、フィリピン、スリランカ、アルゼンチン、パナマ	帯広	帯広畜産大学原虫病研究センター
女性指導者のための食・栄養改善	1996	2005	エリトリア、ケニア、セネガル、タンザニア、ニジェール、マダガスカル、マラウイ、南アフリカ共和国、ガーナ、スワジランド、エチオピア、サモア、バブアニューギニア、ボツワナ、ウガンダ、ザンビア、ジンバブエ、レソト	帯広	(公社)北海道国際交流・協力総合センター、帯広大谷短期大学、帯広市役所
地域流域環境管理	1998	2007	イラン、インド、ウクライナ、パナマ、フィリピン、ブラジル、メキシコ、ラオス、インドネシア、ウガンダ、コロンビア、トルコ、ミャンマー、ウルグアイ、エクアドル、ケニア、チェコ、ペルー、マレーシア、中華人民共和国、エチオピア、ジンバブエ、タイ、ニカラグア、パキスタン、セルビア、ベトナム、ホンジュラス、インドネシア、カメルーン、カンボジア、コロンビア、タイ、チリ、ネパール、マレーシア、イラン、スリランカ、ニカラグア、パキスタン、フィリピン、モロッコ、トルコ	帯広	北海道大学、(公社)北海道国際交流・協力総合センター、北海道開発局帯広開発建設部、帯広市役所
コロンビア土地区画整理事業	1998	2002	コロンビア	帯広	帯広市
自然公園の管理・運営と利用(エコツアー)	1998	2009	アルゼンチン、キルギス、モンゴル、ラトビア、リトアニア、ルーマニア、中華人民共和国、スロバキア、ネパール、ブルガリア、ボスニア・ヘルツェゴビナ、タジキスタン、ブータン、ガーナ、キリバス、メキシコ、ラオス、レソト、インドネシア、ウガンダ、サモア	帯広	釧路国際ウェットランドセンター
触媒科学研究	2000	2001	イラン、インド、エジプト、ネパール、メキシコ、中華人民共和国、フィリピン、タイ	札幌	(公社)北海道国際交流・協力総合センター、(公社)はまなす財団、北海道大学触媒化学研究センター、札幌市水道局、札幌市衛生研究所、文部省学術国際局国際企画課教育文化交流室、札幌市自治研修センター、北海道開発局、北海道教育庁
エレクトロニクス技術(コンピュータ・インターフェイス)	2000	2003	アルゼンチン、エクアドル、ケニア、サウジアラビア、ジャマイカ、スリランカ、チリ、マレーシア、メキシコ、中華人民共和国、アルジェリア、イラン、ルワンダ、ネパール、パレスチナ、ベネズエラ、エジプト、タイ、ブラジル、ウズベキスタン	札幌	北海道大学触媒化学研究センター、(財)さっぽろ産業振興財団
新生児マスキリーニング(クレチン症・フェニルケトン尿症)	2000	2004	アルゼンチン、ウルグアイ、エジプト、バブアニューギニア、フィリピン、ペルー、メキシコ、ラトビア、タンザニア、ヨルダン、インドネシア、ブラジル、タイ、コスタリカ、ポーランド、エルサルバドル、ザンビア、パキスタン、エクアドル	札幌	北海道大学触媒化学研究センター、(財)さっぽろ産業振興財団、(公社)北海道国際交流・協力総合センター、(財)日本国際協力センター、(公社)はまなす財団、札幌市衛生研究所、北海道農政部、北海道保健福祉部、北海道開発局、札幌市自治研修センター、札幌市環境局環境活動推進課
エキノコックス症対策	2000	2005	ウルグアイ、パラグアイ、ブラジル、モンゴル、タンザニア、アルゼンチン、ペルー、中華人民共和国、タイ	札幌	(公社)北海道国際交流・協力総合センター、札幌市衛生研究所、北海道立衛生研究所
下水道維持管理	2000	2010	インドネシア、コートジボワール、パキスタン、バブアニューギニア、パレスチナ、バングラデシュ、モリタニア、ペルー、ラオス、ナイジェリア、ブータン、ドミニカ共和国、オマーン、ホンジュラス、ベトナム、フィリピン、モルディブ、スリランカ、インド、マラウイ、アルバニア、ブラジル、ジンバブエ、サウジアラビア、イラン、パラオ、カンボジア、シリア、イエメン、モーリシャス、モロッコ、アルジェリア、ボツワナ、フィジー、イラク、グアテマラ	札幌	(公社)北海道国際交流・協力総合センター、札幌市下水道局
地域開発計画管理セミナー	2000	2002	イラン、コロンビア、トルコ、ナミビア、フィリピン、マレーシア、中華人民共和国、パレスチナ、ボリビア、ルワンダ、カメルーン、インドネシア、タンザニア、パラグアイ、ハンガリー、スロバキア	札幌	(公社)はまなす財団、(公社)北海道国際交流・協力総合センター、国土交通省北海道開発局、北海道保健福祉部、札幌市水道局、北海道保健福祉部
地域環境保全技術	2000	2004	インドネシア、フィリピン、ペルー、ヨルダン、タイ、トルコ、中華人民共和国、インド、チリ、パキスタン、ボリビア、バングラデシュ、モロッコ、ドミニカ共和国	札幌	(公社)北海道国際交流・協力総合センター、(公社)はまなす財団、札幌市水道局、北海道開発局、北海道保健福祉部/環境局、北海道立環境科学研究センター
水道技術者育成	2000	2010	エジプト、ドミニカ共和国、フィリピン、ペルー、マレーシア、ラオス、タイ、ベネズエラ、ボリビア、モロッコ、インドネシア、シリア、スリランカ、中華人民共和国、スワジランド、ザンビア、ジンバブエ、サモア、ブラジル、ハイチ、パレスチナ、クック諸島、グアテマラ、パラグアイ、トンガ、コロンビア、ホンジュラス、ケニア、ベトナム、ニカラグア、コートジボワール、イエメン、タンザニア、マダガスカル、バヌアツ、アルジェリア、バングラデシュ、ミャンマー、レソト、ウガンダ、マケドニア旧ユーゴスラビア共和国、マラウイ、エクアドル、アルバニア、ネパール、シエラレオネ、ペルー、ジャマイカ、ラオス、ソロモン、イラク、ジンバブエ、東ティモール	札幌	(公社)北海道国際交流・協力総合センター、(公社)はまなす財団、(財)日本国際協力センター、札幌市水道局、北海道開発局、札幌市環境局、国土交通省北海道開発局
地域土木行政セミナー	2000	2015	チュニジア、パナマ、パラグアイ、ボリビア、中華人民共和国、ナミビア、チリ、エルサルバドル、アルバニア、ブータン、バブアニューギニア、バングラデシュ、ガーナ、パラオ、フィリピン、カンボジア、マレーシア、ネパール、東ティモール、バヌアツ、スリランカ、ヨルダン、アフガニスタン、タンザニア、ホンジュラス、パレスチナ、カメルーン、ケニア、インドネシア、シエラレオネ、モザンビーク、エジプト、パキスタン、サモア、クック諸島、東ティモール、チャド、南アフリカ共和国、ミャンマー、コンゴ共和国	札幌	(公社)はまなす財団、(公社)北海道国際交流・協力総合センター、(財)日本国際協力センター、(財)日本国際協力センター、(財)日本環境衛生センター、緑資源機構、大雪山地改良区、北海道大学、北海道開発局、札幌市環境局、北海道立環境科学研究センター
小学校における理科実験教育(南西アジア諸国)	2001	2008	スリランカ、パキスタン、バングラデシュ、ミャンマー、ネパール、モルディブ	帯広	(公社)北海道国際交流・協力総合センター、北海道教育大学、帯広市教育委員会
パキスタン民主化支援	2001	2003	パキスタン	札幌	(公社)北海道国際交流・協力総合センター、札幌市自治研修センター
パレスチナ地方自治体行政	2001	2003	パレスチナ	札幌	(公社)北海道国際交流・協力総合センター、札幌市自治研修センター



主な研修コース	受入期間 実績開始 年度	受入期間 実績終了 年度	国名	所管 担当 部署名	主な委託および実施機関
東欧環境行政	2001	2003	リトアニア、セルビア、ブルガリア、チェコ、スロバキア、アルバニア、ルーマニア、ハンガリー、エストニア、ラトビア	札幌	(財)日本国際協力センター、札幌市環境局環境活動推進課
ザンビア農業普及	2000	2005	ザンビア	帯広	帯広畜産大学、(財)日本国際協力センター
農畜水産食品の安全管理 (サブサハラアフリカ諸国)	2001	2004	ケニア、ザンビア、タンザニア、ウガンダ、ギニア、ボツワナ、トーゴ、ガンビア、セネガル、コンゴ民主共和国	札幌	酪農学園大学
エジプト看護教育手法	2001	2005	エジプト	札幌	天使大学
ペルー環境を配慮した地方農業開発	2001	2005	ペルー	帯広	帯広畜産大学、(公社)北海道国際交流・協力総合センター
食品保健行政	2001	2005	マラウイ、タンザニア、モザンビーク、ケニア、レソト、ザンビア、ジンバブエ、ボツワナ、ニジェール、ガーナ、コートジボワール、モロッコ、セネガル、ベナン、ウガンダ、トーゴ、ガボン、ブルキナファソ、ガンビア、ナイジェリア	札幌	(公社)北海道国際交流・協力総合センター(公財)はまなす財団、北海道大学、札幌市保健所、札幌市保健福祉局、(財)日本環境衛生センター、北海道開発局、北海道大学大学院獣医学研究科、北海道立衛生研究所
農民参加による農業農村開発II	2001	2005	カンボジア、ハイチ、ネパール、ラオス、カメルーン、ボリビア、パラグアイ、グアテマラ、ミャンマー、ドミニカ共和国、タンザニア、パプアニューギニア、コロンビア、エチオピア、トルコ、ニジェール、ナイジェリア、ケニア、ブルキナファソ、レバノン、パキスタン、モザンビーク、フィリピン、ジンバブエ、スリランカ、ホンジュラス、アフガニスタン、ザンビア、タイ、ペルー、マレーシア、モロッコ、ルーマニア	札幌	緑資源機構、(公社)北海道国際交流・協力総合センター、(財)日本環境衛生センター、(公財)はまなす財団、北海道教育大学岩見沢校、北海道教育大学、(株)地域開発研究所、天使大学
中米生活廃棄物処理	2001	2006	ニカラグア、エルサルバドル、コスタリカ、パナマ、ホンジュラス、グアテマラ、ドミニカ共和国、メキシコ	札幌	(財)日本環境衛生センター、(社)北海道国際農業交流協会、札幌市環境局
都市型水質汚濁検査技術II	2001	2005	トルコ、レバノン、ベネズエラ、ボリビア、タイ、スリランカ、チュニジア、ルーマニア、エジプト、オマーン、フィリピン、ウガンダ、シリア、コスタリカ、ケニア、マレーシア、バングラデシュ、モロッコ、アルジェリア、バヌアツ	札幌	(公社)北海道国際交流・協力総合センター、旭川医科大学、(財)日本環境衛生センター、札幌市衛生研究所、札幌市環境局、大雪山地改良区、国土交通省北海道開発局、江別市
東欧・生産管理	2001	2005	リトアニア、ブルガリア、マケドニア旧ユーゴスラビア共和国、ラトビア、エストニア、ボスニア・ヘルツェゴビナ、ルーマニア、アルバニア、コンゴ、ウクライナ	札幌	北海道科学技術総合振興センター、(財)日本環境衛生センター、(財)日本国際協力センター、(公財)はまなす財団、緑資源機構、北海道開発局、札幌市環境局、江別市
中央アジア地域開発セミナー	2001	2006	トルクメニスタン、タジキスタン、キルギス、ウズベキスタン、カザフスタン	札幌	(公財)はまなす財団、酪農学園大学、(財)日本国際協力センター、北海道科学技術総合振興センター、札幌市環境局、国土交通省北海道開発局、北海道開発局、緑資源機構
道路技術	2001	2009	マルタ、タンザニア、スリランカ、パレスチナ、タイ、マレーシア、東ティモール、フィリピン、モザンビーク、ザンビア、パキスタン、ジブチ、マダガスカル、ジンバブエ、ガーナ、インドネシア、カメルーン、バヌアツ、ハイチ、オマーン、パプアニューギニア、ボリビア、ラオス、ソロモン、ネパール、ミャンマー、ウガンダ、ルワンダ、カンボジア、リベリア	札幌	(公社)北海道国際交流・協力総合センター、(公財)はまなす財団、(社)北海道国際農業交流協会、札幌市建設局、札幌市衛生研究所、国土交通省北海道開発局
産業動物の獣医技術	2001	2013	ケニア、ベナン、ネパール、ザンビア、タイ、コートジボワール、ボリビア、アルゼンチン、ブラジル、ガーナ、メキシコ、フィジー、スワジランド、ジンバブエ、ナイジェリア、ルワンダ、エジプト、ラオス、中華人民共和国、ミャンマー、インドネシア、ニカラグアナイジェリア、ウガンダ、ジャマイカ、トンガ、カンボジア、コンゴ、スリランカ	札幌	(社)北海道獣医師会
森林造成技術者育成	2001	2004	アルゼンチン、インドネシア、カンボジア、ニカラグア、ハイチ、フィリピン、ブルキナファソ、マラウイ、ラオス、アフガニスタン、コロンビア、チリ、バヌアツ、マダガスカル、モンゴル、東ティモール	帯広	(社)海外林業コンサルタンツ協会、帯広市役所、林野庁、北海道営林局
畜産物の利用と保蔵技術	2001	2005	ウルグアイ、サモア、マラウイ、モルドバ、ルワンダ	帯広	(公社)北海道国際交流・協力総合センター、帯広畜産大学大学院畜産学研究所
農業情報システム	2001	2005	ウガンダ、ガーナ、スリランカ、タンザニア、フィリピン、マレーシア、ラトビア、エルサルバドル、タイ、チリ、ケニア、ジンバブエ、パラグアイ、ペルー、ボリビア、モンゴル、ラオス、イラン、ドミニカ共和国、トンガ、ニジェール、ヨルダン、ザンビア、スリランカ、パレスチナ	帯広	(公社)北海道国際交流・協力総合センター、帯広畜産大学、富士通東北海道システムエンジニアリング
中央アジア環境行政	2002	2005	キルギス、アゼルバイジャン、ウズベキスタン、タジキスタン、トルクメニスタン、カザフスタン、アルメニア、ジョージア	札幌	(財)日本国際協力センター、(公社)北海道国際交流・協力総合センター、札幌市環境局、札幌市教育センター
ナイジェリアHIV感染予防対策	2002	2007	ナイジェリア	札幌	(財)日本国際協力センター、北海道大学医学研究科
中央アジア経営管理	2002	2004	アルメニア、キルギス、アゼルバイジャン、カザフスタン、ジョージア	札幌	北海道科学技術総合振興センター
中央アジア母子保健行政	2002	2005	キルギス、ジョージア、アゼルバイジャン、アルメニア、タジキスタン、ウズベキスタン、カザフスタン、トルクメニスタン	札幌	(財)日本国際協力センター、(公社)北海道国際交流・協力総合センター、旭川医科大学、北海道保健福祉部、札幌市教育センター、北海道科学技術総合振興センター
南西アジアIT人材育成	2002	2007	スリランカ、ブータン、インド、バングラデシュ、ネパール、パキスタン、モザンビーク	札幌	(財)さっぽろ産業振興財団、(財)日本環境衛生センター、札幌市IT振興普及推進協議会、札幌市環境局環境活動推進課
畑地帯農業管理	2002	2006	ケニア、タンザニア、ニカラグア、パキスタン、パプアニューギニア、フィリピン、ミャンマー、インド、ネパール、ホンジュラス、マダガスカル、マラウイ、モンゴル、ラオス、アフガニスタン、グアテマラ、ザンビア、タジキスタン、ヨルダン、中華人民共和国、タイ、バングラデシュ、マレーシア	帯広	(公社)北海道国際交流・協力総合センター、帯広市農業技術センター、帯広市農業振興公社
畑地帯における農業基盤整備	2004	2008	イラン、ネパール、パラオ、メキシコ、中華人民共和国、アフガニスタン、インド、エジプト、ケニア、タイ、パキスタン、パラグアイ、ベトナム、ミャンマー、ザンビア、タンザニア、トーゴ、フィリピン、マダガスカル、マレーシア、モンゴル、イエメン、パプアニューギニア、ブータン、ブラジル、エチオピア、カンボジア	帯広	(公社)北海道国際交流・協力総合センター、国土交通省北海道開発局帯広開発建設部
コロンビア地方行政開発計画	2003	2007	コロンビア	札幌	江別市
母子保健人材育成	2003	2007	カンボジア、ジャマイカ、モザンビーク、パプアニューギニア、カメルーン、エリトリア、ルワンダ、タンザニア、モンゴル、ニジェール、エジプト、ジョージア、ラオス、アフガニスタン、グアテマラ、ネパール、バングラデシュ、ペルー、ボリビア、モロッコ、ケニア、ドミニカ共和国、エルサルバドル、ブルキナファソ、ベナン、ウズベキスタン、シリア	札幌	旭川医科大学

主な研修コース	受入期間 実績開始 年度	受入期間 実績終了 年度	国名	所管 担当 部署名	主な委託および実施機関
農村振興セミナー	2003	2011	ウクライナ、モルドバ、フィジー、パラグアイ、アルバニア、ペルー、ブータン、ラオス、ミャンマー、サントメ・プリンシペ、ネパール、コンゴ民主共和国、チャド、アフガニスタン、コンゴ共和国、タンザニア、マラウイ、ホンジュラス、グアテマラ、エチオピア、エルサルバドル、カンボジア、メキシコ、タイ、イラク、キルギス、グレナダ、パプアニューギニア、マーシャル、モロッコ、ケニア、ボツワナ、マダガスカル、スリランカ、インドネシア、トルコ、ウガンダ、カメルーン、ミクロネシア、カーボヴェルデ、タジキスタン、モンゴル、中華人民共和国、エジプト、ミクロネシア、ブラジル	札幌	(社)北海道国際農業交流協会、(社)滝川国際交流協会、緑資源機構、(社)北海道国際農業交流協会、(公財)はまなす財団、(株)地域開発研究所、国土交通省北海道開発局
地域開発計画管理	2003	2015	タンザニア、ガーナ、シエラレオネ、コンゴ、スーダン、アルバニア、イラク、フィリピン、ザンビア、東ティモール、トルコ、ベトナム、スリランカ、バヌアツ、モルドバ、ニカラグア、ブータン、ウズベキスタン、タイ、ラオス、ミャンマー、チュニジア、パプアニューギニア、スワジランド、ドミニカ共和国、パレスチナ、ネパール、レソト、インドネシア、マケドニア旧ユーゴスラビア共和国、コロンビア、アルメニア、アフガニスタン、キルギス、ブルガリア、エチオピア、ボリビア、チリ、ペルー、モンゴル、中華人民共和国、マダガスカル、ルーマニア、インド、タジキスタン	札幌	(公財)はまなす財団、(財)日本環境衛生センター、札幌市、国土交通省北海道開発局
地方教育行政セミナー (サブ・サハラアフリカ諸国)II	2003	2007	モーリタニア、ケニア、ベナン、タンザニア、セネガル、ザンビア、ナミビア、ボツワナ、スワジランド、コートジボワール、ガーナ、マラウイ、エチオピア、モザンビーク、ブルキナファソ、ギニア、コンゴ民主共和国、南アフリカ共和国、ウガンダ、カメルーン、ニジェール、ナイジェリア	札幌	(公社)北海道国際交流・協力総合センター、酪農学園大学、(社)北海道獣医師会、(財)日本環境衛生センター、札幌市教育センター、札幌市水道局、北海道建設部/農政部、(社)滝川国際交流協会、札幌市衛生研究所
都市計画・土地区画整理事業	2003	2007	エクアドル、コロンビア、ベネズエラ、ペルー、ボリビア	帯広	(公社)北海道国際交流・協力総合センター、帯広市役所
ゼロ・エミッション型農業・農村環境システム	2003	2012	カメルーン、カンボジア、スリランカ、タイ、フィジー、ベトナム、ボリビア、マダガスカル、ブラジル、イエメン、インドネシア、チュニジア、ヨルダン、コスタリカ、コロンビア、シリア、ペルー、マラウイ、マレーシア、モーリシャス、中華人民共和国、アルバニア、ウクライナ	帯広	(財)日本国際協力センター、帯広畜産大学大学院畜産学研究所
循環型酪農システム	2004	2006	エチオピア、ケニア、スリナム、パラグアイ、バングラデシュ、ボリビア、ジンバブエ、タイ、タンザニア、マラウイ、ヨルダン、中華人民共和国、アルゼンチン、イエメン、エジプト、スリランカ、ニカラグア、バヌアツ、モンゴル、ベトナム	帯広	帯広畜産大学
農民組織化と農協の役割	2004	2006	ウズベキスタン、タジキスタン、キルギス、カザフスタン	札幌	(財)日本国際協力センター、(公財)はまなす財団、酪農学園大学、緑資源機構、(財)日本国際協力センター、北海道農政部
湿地における生態系・生物多様性と その修復・再生及び賢明な利用	2004	2008	エクアドル、スロバキア、ニカラグア、パプアニューギニア、ベナン、ルーマニア、オマーン、コロンビア、タイ、タンザニア、ネパール、ラオス、インドネシア、ザンビア、ソロモン、ドミニカ共和国、ベトナム、ウガンダ、ケニア、フィリピン、メキシコ、中華人民共和国、ブラジル、マレーシア	帯広	釧路国際ウェットランドセンター
畜産物の利用と保蔵技術II	2006	2007	アルゼンチン、ガーナ、キューバ、コートジボワール、ベトナム、スリランカ、ソロモン、タイ、ハイチ、パラグアイ、マレーシア、インド、ウラグアイ、サモア、マダガスカル、ルワンダ、エルサルバドル、マラウイ、コンゴ民主共和国、サントメ・プリンシペ、トルコ、ペルー、モンゴル	帯広	(公社)北海道国際交流・協力総合センター、帯広畜産大学大学院畜産学研究所、(財)十勝圏地域振興機構 食品加工技術センター
低投入型農業生産管理システム	2004	2008	ケニア、コートジボワール、スリランカ、タイ、パプアニューギニア、ボリビア、モロッコ、中華人民共和国、エチオピア、ザンビア、ドミニカ共和国、ペルー、インドネシア、ウガンダ、タンザニア、ニジェール、フィリピン、マラウイ、キューバ、タジキスタン、ネパール、ミャンマー、インド、ヨルダン	帯広	(公社)北海道国際交流・協力総合センター、帯広畜産大学大学院畜産学研究所
土壌の診断と保全	2004	2008	カンボジア、ザンビア、タイ、タジキスタン、ハイチ、ブルキナファソ、中華人民共和国、ブータン、ジンバブエ、ドミニカ共和国、ネパール、フィリピン、ブラジル、マダガスカル、エチオピア、シリア、タンザニア、パキスタン、パラグアイ、マリ、セントビンセント、ニカラグア、ボリビア、ベナン、アフガニスタン	帯広	(公社)北海道国際交流・協力総合センター、帯広市役所、帯広畜産大学大学院畜産学研究所
南東欧地域農産物市場経済	2005	2007	アルバニア、コンゴ、セルビア、マケドニア旧ユーゴスラビア共和国、モルドバ、ウクライナ、ボスニア・ヘルツェゴビナ	帯広	(財)日本国際協力センター、帯広畜産大学大学院畜産学研究所
トルコ東部黒海地域人材育成	2005	2008	トルコ	札幌	(財)日本国際協力センター、(社)北海道総合研究調査会、北海道保健福祉部、(株)地域開発研究所
食の安全確保のための 人畜共通感染症対策	2005	2009	インド、ケニア、パラグアイ、ブルキナファソ、ベトナム、ウガンダ、ウルグアイ、スリランカ、タイ、ペルー、マレーシア、モンゴル、ジンバブエ、ブラジル、ボリビア、中華人民共和国、インドネシア、コートジボワール、サモア	帯広	帯広畜産大学病原虫研究センター、帯広畜産大学大学院畜産学研究所
共生による森林保全	2005	2009	エチオピア、カンボジア、ソロモン、タイ、チュニジア、トーゴ、ドミニカ共和国、ニカラグア、フィリピン、ミャンマー、ウガンダ、ガーナ、ケニア、サモア、ザンビア、パプアニューギニア、ベトナム、メキシコ、ラオス、アルゼンチン、キルギス、グアテマラ、ニジェール、フィジー、ブラジル、レソト、中華人民共和国、インド、ブルキナファソ	帯広	(社)海外林業コンサルタンツ協会、林野庁
地域環境保全対策と技術	2005	2009	アフガニスタン、アルバニア、メキシコ、ラオス、ケニア、ベトナム、ウガンダ、インドネシア、ヨルダン、ブラジル、イラン、チュニジア、コロンビア、エジプト、中華人民共和国、パキスタン	札幌	(公社)北海道国際交流・協力総合センター、札幌市教育センター、北海道立環境科学センター
畜産食品の危害リスク管理	2005	2009	ガーナ、コートジボワール、セネガル、タンザニア、モザンビーク、モーリシャス、ケニア、ウガンダ、マリ、フィジー、フィリピン、チリ、バングラデシュ、ボリビア、ニジェール、中華人民共和国、タイ	札幌	(公社)北海道国際交流・協力総合センター、(社)北海道国際農業交流協会、(財)日本環境衛生センター、(社)北海道獣医師会、酪農学園大学、北海道教育大学、札幌市環境局
乾燥地における水資源・環境管理	2006	2008	マダガスカル、ヨルダン、チュニジア、チャド、タンザニア、ボツワナ、エジプト、インドネシア、イラク、ジンバブエ、中華人民共和国、ウズベキスタン、ニジェール、インド、ルワンダ、モンゴル	札幌	室蘭工業大学
廃棄物管理	2006	2008	エルサルバドル、パナマ	札幌	(財)日本環境衛生センター
健康と栄養改善のための 女性指導者研修	2006	2010	カメルーン、タンザニア、ナイジェリア、ニジェール、マラウイ、モーリタニア、ガーナ、ザンビア、セネガル、ブルキナファソ、ベナン、マダガスカル、エチオピア、ウガンダ、ケニア	帯広	(公社)北海道国際交流・協力総合センター、帯広大谷短期大学、帯広市役所
都市生活型の環境問題	2006	2010	フィリピン、スリランカ、インドネシア、モロッコ、ブラジル、ケニア、ボツワナ、コロンビア、トルコ、ジンバブエ、ガボン、エチオピア、エジプト、タイ、イラン、中華人民共和国	札幌	(公社)北海道国際交流・協力総合センター、札幌市環境局
農業のITシステム化技術	2006	2010	ウガンダ、タンザニア、フィリピン、ボツワナ、アフガニスタン、キューバ、コンゴ民主共和国、ザンビア、セントルシア、ネパール、パレスチナ、ヨルダン、インド、ジャマイカ	帯広	(公社)北海道国際交流・協力総合センター、帯広畜産大学大学院畜産学研究所、富士通東北海道システムエンジニアリング、(有)アグリウエザー
南東欧地域 観光振興	2006	2008	アルバニア、クロアチア、ブルガリア、マケドニア旧ユーゴスラビア共和国、ルーマニア、セルビア、モルドバ、ウクライナ、ボスニア・ヘルツェゴビナ	札幌	(財)札幌国際プラザ
アジア地域 鳥インフルエンザ 防除対策ワークショップ	2007	2008	タイ、ベトナム、中華人民共和国、ラオス、ミャンマー、インドネシア、モンゴル、カンボジア、マレーシア、アゼルバイジャン、シリア、トルコ	札幌	北海道大学
アフリカ地域 森林エコノミーズの 推進による地域経済活性化	2007	2008	マダガスカル、ザンビア、エチオピア、南アフリカ共和国、ナミビア、ボツワナ、中華人民共和国	札幌	北海道大学
コーカサス・東アジア地域 寒冷地水道	2007	2008	モンゴル、アゼルバイジャン、アルメニア、ジョージア	札幌	(公社)北海道国際交流・協力総合センター、札幌市水道局



主な研修コース	受入期間 実績開始 年度	受入期間 実績終了 年度	国名	所管 担当 部署名	主な委託および実施機関
マラウイ・農民組合運営	2007	2008	マラウイ	札幌	(社) 滝川国際交流協会
中央アジア地域 農民組織化と農協の役割	2007	2008	ウズベキスタン、キルギス、カザフスタン、タジキスタン	札幌	(社) 北海道国際農業交流協会、北海道農政部
南東欧地域 湿原保全	2006	2008	セルビア、クロアチア、ボスニア・ヘルツェゴビナ、マケドニア旧ユーゴスラビア共和国、モルドバ、モンテネグロ	帯広	(公社) 北海道国際交流・協力総合センター、北海道大学大学院地球環境科学研究所
アジア・アフリカ地域 畑地帯農業管理普及職員	2007	2009	ケニア、ジンバブエ、ネパール、ブータン、マラウイ、パキスタン	帯広	(公社) 北海道国際交流・協力総合センター、帯広市農業技術センター
コーカサス地域 経営管理	2007	2009	ジョージア、アルメニア、アゼルバイジャン	札幌	北海道科学技術総合振興センター
環太平洋地域 C&I・森林認証	2007	2009	ラオス、ミャンマー、グアテマラ、アルゼンチン、ベトナム、チリ、ニカラグア、インドネシア、中華人民共和国	札幌	森林総合研究所、海外林業コンサルタンツ協会
循環型家畜生産システム	2007	2009	ザンビア、ジンバブエ、スリランカ、タンザニア、バヌアツ、パラグアイ、フィジー、マラウイ、インドネシア、マダガスカル、タイ	帯広	帯広畜産大学大学院畜産学研究所
アジア地域 農民参加型用水管理システム	2007	2010	ラオス、スリランカ、ミャンマー、バングラデシュ	札幌	大雪土地改良区
中央アジア地域 地域開発セミナー	2007	2010	カザフスタン、キルギス、タジキスタン、ウズベキスタン、ウクライナ	札幌	(公財) はまなす財団、国土交通省北海道開発局
南東欧地域 都市上下水道事業管理	2007	2011	マケドニア旧ユーゴスラビア共和国、アルバニア、モンテネグロ、クロアチア、ボスニア・ヘルツェゴビナ、セルビア、モルドバ、ウクライナ	札幌	北海道大学大学院工学研究所
畜産振興計画	2008	2012	中華人民共和国	帯広	(財) 日本国際協力センター、帯広畜産大学大学院畜産学研究所
中南米地域 廃棄物処理技術および3R	2007	2012	パナマ、ドミニカ共和国、エルサルバドル、ホンジュラス、ニカラグア、パラグアイ、コロンビア、ボリビア、コスタリカ、ペルー、エクアドル、ドミニカ共和国エルサルバドル	札幌	(財) 日本環境衛生センター
南東欧地域 生産管理	2007	2012	マケドニア旧ユーゴスラビア共和国、アルバニア、モルドバ、モンテネグロ、セルビア、ウクライナ、ボスニア・ヘルツェゴビナ、クロアチア、コンボ	札幌	北海道科学技術総合振興センター
仏語圏アフリカ地域 母子保健人材育成	2007	2012	コートジボワール、ブルキナファソ、ベナン、マダガスカル、ニジェール、ギニア、セネガル、マリ、コンゴ民主共和国、ハイチ、チャド、モーリタニア、赤道ギニア、モロッコ、ブルンジ、ジブチ、ガボン、コモロ	札幌	札幌医科大学、北海道大学
サブサハラアフリカ地域 地方教育強化(SMASE)	2007	2015	マラウイ、ケニア、ブルンジ、レソト、エチオピア、ルワンダ、モザンビーク、ウガンダ、ザンビア、スーダン、南アフリカ共和国、ナイジェリア、ガーナ、ボツワナ、タンザニア、スワジランド、シエラレオネ、南スーダン、ニジェール	札幌	(公社) 北海道国際交流・協力総合センター、札幌市教育センター、北海道立環境科学研究所(株) 日本国際協力機構
初等理科教授法	2007	2015	ナイジェリア、カンボジア、ジャマイカ、ベリーズ、ナミビア、トンガ、ラオス、サモア、エジプト、ドミニカ共和国、マラウイ、ニジェール、タンザニア、ミャンマー、マーシャル、パレスチナ、シエラレオネ、スリランカ、モルディブ、アンティグア・バーブーダ、ガボーン、イラク、パキスタン、グレナダ、バプアニューギニア、ジンバブエ、モンゴル、コートジボワール、ブルキナファソ、トーゴ、セネガル、ベナン、バヌアツ、ハイチ、ギニア、モーリタニア、ジブチ、バングラデシュ、フィジー、スワジランド、セントビンセント、セントルシア、ソロモニア、エチオピア、クック諸島、ツバル、ニウエ、インド、パラオ、ベトナム、東ティモール	札幌	北海道教育大学
仏語圏アフリカ 乾燥地域 村落飲料水管理	2007	2015	マダガスカル、ブルキナファソ、ブルンジ、ニジェール、マリ、コンゴ民主共和国、チャド、モーリタニア、セネガル、トーゴ、カメルーン、コモロ、ジブチ、ベナン、ルワンダ、コートジボワール	札幌	藤女子大学
農畜産物の利用とその保蔵技術	2008	2010	アルゼンチン、スリランカ、ペルー、ラオス、ウガンダ、フィジー、ベトナム、ボツワナ、ボリビア、エルサルバドル、スワジランド、フィリピン、マラウイ	帯広	帯広畜産大学、(公社) 北海道国際交流・協力総合センター、(株) 北海道畜産公社十勝事業所
アフリカのための農機具改良技術	2009	2009	ウガンダ、ギニアビサウ、ケニア、ルワンダ、ベナン	帯広	(公社) 北海道国際交流・協力総合センター、十勝圏産業振興センター
中央アジア地域 有機農業技術(環境保全型農業)	2008	2010	ウズベキスタン、タジキスタン、キルギス	札幌	(社) 北海道国際農業交流協会
中東地域 新生児マススクリーニング確立支援	2008	2010	パレスチナ、モロッコ	札幌	(公社) 北海道国際交流・協力総合センター、札幌市衛生研究所
南西アジア・大洋州地域 IT人材育成	2008	2010	スリランカ、バングラデシュ、サモア、ナウル、バヌアツ、キリバス	札幌	特定非営利活動法人 札幌市ITフロント
南東欧地域 農業協働セクターの連携・活性化による農産物市場経済強化	2008	2010	アルバニア、マケドニア旧ユーゴスラビア共和国、クロアチア、セルビア、ボスニア・ヘルツェゴビナ	帯広	(財) 日本国際協力センター、帯広畜産大学大学院畜産学研究所
アフリカ地域 地域保健担当官のための保健行政	2008	2013	ナイジェリア、リベリア、シエラレオネ、ガーナ、タンザニア、ケニア、エチオピア、南アフリカ共和国、ウガンダ、マラウイ、ジンバブエ、レソト、モロッコ	札幌	旭川医科大学
中央アジア地域 道路維持管理	2008	2013	タジキスタン、ウズベキスタン、キルギス、モルドバ、トルクメニスタン、カザフスタン	札幌	(社) 北海道総合研究調査会
中南米地域 持続可能な地域観光開発	2008	2015	ペルー、ドミニカ共和国、チリ、パナマ、コスタリカ、ニカラグア、グアテマラ、メキシコ、ホンジュラス、ボリビア、エルサルバドル、パラグアイ、エクアドル、コロンビア	札幌	北海道大学、(社) 北海道総合研究調査会、北海道大学観光学高等研究センター、(公財) はまなす財団
母子保健	2008	2015	カンボジア、シリア、アフガニスタン、バプアニューギニア、ザンビア、パレスチナ、ウルグアイ、マーシャル、スーダン、ハイチ、バングラデシュ、ホンジュラス、インド、ラオス、ナミビア、モンゴル、ジンバブエ、ベネズエラ、ナイジェリア、パキスタン、ネパール、ガーナ、コンボ、ボリビア、コートジボワール、ニジェール、セネガル、コンゴ民主共和国、モーリタニア、南アフリカ共和国、トーゴ、マリ、ブルンジ、ベナン、ブルキナファソ、チャド、コモロ、ジブチ、ガボン、モロッコ、ギニア、コンゴ共和国	札幌	旭川医科大学、天使大学、北海道大学

主な研修コース	受入期間 実績開始 年度	受入期間 実績終了 年度	国名	所管 担当 部署名	主な委託および実施機関
公共事業における市民参加、合意形成および住民移転	2009	2015	インド、スリランカ、ネパール、パキスタン、バングラデシュ、カンボジア、スリランカ、ネパール、バプアニューギニア、バングラデシュ、ベトナム、ラオス、インドネシア、東ティモール、アフガニスタン	帯広	(公社) 北海道国際交流・協力総合センター、北海道大学、北海道開発局帯広開発建設部
コーカサス・東アジア地域 寒冷地水道	2009	2009	ウズベキスタン、モンゴル、アゼルバイジャン、アルメニア	札幌	(公社) 北海道国際交流・協力総合センター、札幌市水道局
南東欧地域 都市上下水道事業管理	2009	2009	クロアチア、ボスニア・ヘルツェゴビナ、アルバニア	札幌	北海道大学大学院工学研究所
AIDSの予防及び対策	2009	2010	タンザニア、コートジボワール、ガーナ、マラウイ、スワジランド、ナイジェリア、セネガル、南アフリカ共和国、レソト	札幌	北海道大学医学研究科
ラムサール条約・生物多様性条約に係わる湿地の保全と利用	2009	2011	インド、フィリピン、マレーシア、モンゴル	帯広	釧路国際ウェットランドセンター
気候変動による洪水対策と生態系保全のための順応的流域管理	2009	2011	セネガル、タジキスタン、バングラデシュ、ボリビア、マラウイ	帯広	(公社) 北海道国際交流・協力総合センター、北海道開発局帯広開発建設部、北海道大学大学院地球環境科学研究所、酪農学園大学
食糧増産のための環境対応型農業	2009	2011	ザンビア、チリ、ニジェール、モルドバ、キューバ、アルバニア、インド、タイ	帯広	(公社) 北海道国際交流・協力総合センター、帯広畜産大学大学院畜産学研究所
生物多様性保全のための野生動物問題解決手法	2009	2011	インドネシア、ケニア、マレーシア	帯広	NPO法人 エンヴィジョン環境保全事務所
南東欧地域 自然環境保全に配慮した観光計画・振興	2009	2011	モルドバ、ボスニア・ヘルツェゴビナ、セルビア、アルバニア、マケドニア旧ユーゴスラビア共和国	札幌	(財) 札幌国際プラザ
森林経営	2009	2013	キルギス	帯広	(社) 海外林業コンサルタンツ協会
中央アジア地域 農民組織強化	2009	2014	キルギス、タジキスタン、ウズベキスタン、トルクメニスタン	札幌	(社) 北海道国際農業交流協会、北海道農政部、(公財) 北海道農業公社、北海道大学農学部
南アジア地域 小学校理科教育の質的向上(「教えと学び」の現場教育)	2009	2015	アフガニスタン、スリランカ、ネパール、バングラデシュ、ブータン、パキスタン	帯広	(公社) 北海道国際交流・協力総合センター、北海道教育大学、帯広市役所
農村開発のための畑地帯における農業基盤整備	2009	2014	カンボジア、スリランカ、フィリピン、マラウイ、ミャンマー、ウクライナ、タイ、アフガニスタン、ジンバブエ、スーダン、パキスタン、ブータン、ベトナム、モザンビーク、インド、バングラデシュ	帯広	(公社) 北海道国際交流・協力総合センター、北海道開発局帯広開発建設部
持続的農業生産と環境保全のための土壌診断技術	2009	2015	ザンビア、ジャマイカ、スリランカ、マラウイ、モンゴル、アフガニスタン、ボリビア、スーダン、ミャンマー、アルジェリア、キューバ、コンボ、フィリピン、ベトナム、カンボジア、モザンビーク、モルドバ、スワジランド、パレスチナ、サモア	帯広	(公社) 北海道国際交流・協力総合センター、帯広市役所、帯広畜産大学大学院畜産学研究所、(一社) アースカフェ
中南米地域 火山防災能力強化	2009	2015	グアテマラ、チリ、エクアドル、コロンビア、コスタリカ、ニカラグア、エルサルバドル、ペルー	札幌	環境防災総合政策研究機構
生物多様性保全のための野生動物問題解決手法	2010	2010	インドネシア、ケニア、マレーシア	帯広	EnVion環境保全事務所
中東地域 良質な牛乳生産のための乳牛の飼養管理	2008	2010	シリア、トルコ、ヨルダン	帯広	帯広畜産大学大学院畜産学研究所
中南米地域 持続可能な地域観光開発	2010	2010	コスタリカ、ペルー、エルサルバドル、ドミニカ共和国、グアテマラ、ボリビア、チリ、メキシコ	札幌	(社) 北海道総合研究調査会、北海道大学観光学高等研究センター
道路技術	2010	2010	ルワンダ、タンザニア、カンボジア、ウガンダ、ケニア、ガーナ、東ティモール、ミャンマー	札幌	(公社) 北海道国際交流・協力総合センター、札幌市建設局
ロシア語圏 経営管理	2010	2011	ウズベキスタン、キルギス、ウクライナ、アルメニア、カザフスタン、トルクメニスタン	札幌	北海道科学技術総合振興センター
農業生産性向上のための農業機械・農機具改良	2010	2012	ケニア、セネガル、マリ	帯広	(公社) 北海道国際交流・協力総合センター、十勝圏産業振興センター
アジア・中南米地域 C&I森林認証	2010	2012	ペルー、中華人民共和国、アルゼンチン、コロンビア、メキシコ、ニカラグア、ミャンマー、タイ	札幌	(社) 海外林業コンサルタンツ協会、(公社) 北海道国際交流・協力総合センター
寒冷地上水道技術	2010	2012	タジキスタン、アルメニア、モンゴル、ウズベキスタン	札幌	(公社) 北海道国際交流・協力総合センター、札幌市水道局
国際獣疫対策上級専門家育成	2010	2012	アルゼンチン、イラク、ザンビア、タイ、ベトナム、モンゴル、インドネシア、ウガンダ	帯広	帯広畜産大学大学院畜産学研究所
人獣共通感染症対策	2010	2012	インドネシア、ラオス、中華人民共和国、モンゴル、ヨルダン、アルゼンチン、ジンバブエ、ミャンマー、ウルグアイ、インド	札幌	北海道大学
水とサニテーション	2010	2012	ブルキナファソ、コートジボワール	札幌	北海道大学
普及指導員のための畑作物管理	2010	2012	エチオピア、ザンビア、ジンバブエ、スーダン、ミャンマー、ヨルダン、アフガニスタン、ガーナ、マラウイ、モザンビーク、南スーダン	帯広	(公社) 北海道国際交流・協力総合センター、帯広市役所、帯広市農業技術センター
持続的農村開発のための畜産振興	2010	2015	インドネシア、ジンバブエ、タイ、ネパール、パラグアイ、フィジー、ウルグアイ、ザンビア、パキスタン、マラウイ、ミャンマー、ウガンダ、スリランカ、ナミビア、東ティモール、タンザニア、南スーダン、ジョージア	帯広	帯広畜産大学大学院畜産学研究所



主な研修コース	受入期間 実績開始 年度	受入期間 実績終了 年度	国名	所管 担当 部署名	主な委託および実施機関
自然・文化資源の持続可能な利用 (エコツーリズム)	2010	2015	アルゼンチン、ウガンダ、ケニア、スリランカ、タイ、ベトナム、パナマ、アルバニア、 ガイアナ、コソボ、ジョージア、スリナム、トルコ、ブータン、ミャンマー、メキシコ、 モンゴル、セーシェル、コスタリカ、エルサルバドル、ペルー、セルビア、 マケドニア旧ユーゴスラビア共和国、カンボジア、フィジー、レソト、ソロモン、 パプアニューギニア、ガボン、ジンバブエ、インド、セネガル、トンガ、ネパール、 パラオ、キルギス、東ティモール	帯広	釧路国際ウェットランドセンター
地域住民の参加による多様な森林保全	2010	2015	アルメニア、ケニア、スリランカ、パナマ、フィリピン、ベトナム、モザンビーク、 中華人民共和国、エチオピア、ガーナ、ブルキナファソ、カンボジア、タイ、ミャンマー、 タンザニア、ネパール、パプアニューギニア、マラウイ、ラオス、東ティモール、インド	帯広	(社)海外林業コンサルタンツ協会、帯広市役所
中央アジア地域 障害者のメイン ストリーミング及びエンパワーメント促進	2010	2015	タジキスタン、トルクメニスタン、カザフスタン、キルギス、ウズベキスタン	札幌	DPI北海道
アフリカ地域 農民参加型用水管理 システム/TICAD IVフォローアップ	2011	2012	タンザニア、ルワンダ、エチオピア、ガーナ、ケニア、ナイジェリア、タンザニア、 ウガンダ、マラウイ	札幌	大雪土地改良区
持続可能な沿岸漁業 (B)	2011	2012	サントメ・プリンシペ、コンゴ共和国、ケニア、セネガル、ドミニカ、ジブチ、 マーシャル、ブラジル、コモロ、タイ、ジブチ、スリランカ、ガーナ	札幌	北海道大学水産学部
アフリカ地域 女性指導者のための 健康と栄養改善	2011	2013	エチオピア、ガーナ、ケニア、ザンビア、ジンバブエ、ベナン	帯広	公益社団法人北海道国際交流・協力総合センター、 帯広大谷短期大学、帯広市役所
アフリカ地域 農産品加工による 村落生計向上/TICAD IVフォローアップ	2011	2013	ルワンダ、ナイジェリア、スーダン、マラウイ、エリトリア、ザンビア、ナイジェリア、 エチオピア	札幌	(社)滝川国際交流協会、大雪土地改良区
公的機関におけるIT技術トレーナー	2011	2013	ナウル、マーシャル、タイ、パキスタン、ジャマイカ、キルギス、フィジー、 モーリシャス、リビア、サウジアラビア、マーシャル、パキスタン、ミャンマー	札幌	特定非営利活動法人 札幌市ITフロント
上水道技術者	2011	2013	モーリシャス、ネパール、スワジランド、タンザニア、マラウイ、バングラデシュ、 ナイジェリア、ミャンマー	札幌	(公社)北海道国際交流・協力総合センター、 札幌市水道局
中央アジア地域 未利用有機物資源を 活用した持続型農業	2011	2013	ウクライナ、キルギス、タジキスタン、ウズベキスタン	札幌	(公財)北海道農業公社
アジア地域 農民参加型用水管理システム	2011	2015	ミャンマー、ラオス、バングラデシュ、東ティモール、パキスタン、ネパール、 カンボジア、スリランカ、ブータン、ベトナム	札幌	大雪土地改良区、当別土地改良区、篠津中央土地改良区、 北海土地改良区
森林リモートセンシング	2011	2015	ケニア、パプアニューギニア、ガボン、東ティモール、ベトナム、タイ、インド、カンボジア、ミャンマー、 ブルキナファソ、ジンバブエ、コンゴ民主共和国、ガーナ、フィジー、モザンビーク、ソロモン、 マラウイ、インドネシア、マレーシア、ボツワナ、ペルー、ブラジル、オマーン、フィリピン	札幌	酪農学園大学
アジア・東欧地域 経営管理	2012	2012	ウクライナ、アルメニア、キルギス、カザフスタン、ウズベキスタン、モンゴル	札幌	北海道科学技術総合振興センター
アフリカ地域 農業生産性向上のための 農業機械・農機具改良	2010	2012	カメルーン、ケニア、コンゴ共和国、タンザニア、トーゴ、ニジェール、南スーダン、 ウガンダ、エジプト、ガーナ、カンボジア、ギニア、コンゴ民主共和国、ナイジェリア、 ブルキナファソ、モザンビーク	帯広	帯広市役所、十勝圏産業振興センター
電力系統技術	2012	2013	ミャンマー、ベトナム、モンゴル、ケニア、タンザニア、スリランカ、カンボジア、 ガーナ、サウジアラビア	札幌	(社)海外電力調査会
GIS・リモートセンシングを利用した生物 多様性保全のための野生動物保護管理計画	2012	2014	インド、カメルーン、パラグアイ、ベトナム、ウガンダ、ケニア、ボリビア	帯広	NPO法人 エンヴィジョン環境保全事務所
湿地の保全と持続可能な利用を 通じた地域開発	2012	2014	ウガンダ	帯広	(株)建設技研インターナショナル
地域における湿地の生物多様性の 保全と持続的利用	2012	2014	アルバニア、ウガンダ、タイ、フィリピン、ベトナム、マレーシア、コスタリカ、 メキシコ、中華人民共和国	帯広	釧路国際ウェットランドセンター
中南米地域 参加型地域開発のための 地方行政強化	2012	2014	グアテマラ、ホンジュラス、ドミニカ共和国、コロンビア、パラグアイ	札幌	(公財)はまなす財団
都市内道路の維持管理	2012	2014	アフガニスタン、ザンビア、タンザニア、ミャンマー、南スーダン、ネパール、 ジャマイカ、ウガンダ、パラオ、エジプト、エチオピア、ブータン、モンゴル、イラク	札幌	札幌市建設局、(一社)北海道開発技術センター
気候変動に対する順応的流域管理 (適応策) [洪水対策と生態系保全]	2012	2015	ソロモン、チュニジア、ドミニカ共和国、ベリーズ、マラウイ、モザンビーク、レソト、 アルゼンチン、インドネシア、フィリピン、ミャンマー、 マケドニア旧ユーゴスラビア共和国	帯広	北海道大学大学院農学研究科、 (株)アークコーポレーション
地域資源に基づいた乳肉生産のための 牛の飼養管理	2011	2015	アフガニスタン、エチオピア、マラウイ、ミャンマー、スリランカ、パキスタン、 キューバ、ウガンダ、ガーナ	帯広	帯広市役所、帯広畜産大学
農業地域における経営力、 マーケティング強化による地場産業振興	2012	2012	アルメニア、エジプト、ジョージア、スワジランド、タンザニア、トルコ、 パキスタン、パレスチナ、フィリピン、ブルキナファソ、ペルー、モルドバ、 東ティモール、ザンビア	帯広	インサイトマネジメント(株)
農民主導による普及手法	2012	2015	アフガニスタン、エジプト、ナイジェリア、ベナン、マラウイ、ミャンマー、ガーナ、 カンボジア、タジキスタン、ブルキナファソ、エチオピア、ギニア、コソボ、 フィリピン、ブータン、モザンビーク、南スーダン、ソロモン、バングラデシュ、 コートジボワール、パキスタン、ザンビア、スワジランド、タンザニア、ケニア	帯広	帯広畜産大学
ICTによる農業情報の活用技術	2011	2014	ウガンダ、ガーナ、タンザニア、ナイジェリア、レソト、スーダン、スワジランド、 ルワンダ、ナイジェリア、フィリピン	帯広	(公社)北海道国際交流・協力総合センター、帯広市役所、 帯広畜産大学畜産科科学食料生産科学講座
農民参加による農業農村開発 (A)	2012	2015	ベトナム、ガボン、ウガンダ、南スーダン、エジプト、エチオピア、ケニア、 ニジェール、サントメ・プリンシペ、コソボ、ブルンジ、スーダン、タンザニア、 ナミビア、モザンビーク、ジンバブエ、エチオピア、アフガニスタン	札幌	(社)滝川国際交流協会、(公財)北海道農業公社
アフリカ地域 小規模農民のための 複合農業	2013	2015	ケニア、ザンビア、ジンバブエ、タンザニア、チャド、ナミビア、マラウイ、 モザンビーク	帯広	(一社)アースカフェ

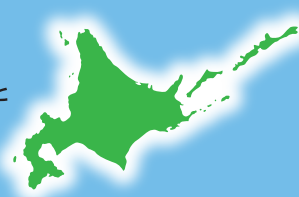
主な研修コース	受入期間 実績開始 年度	受入期間 実績終了 年度	国名	所管 担当 部署名	主な委託および実施機関
原虫病及び食品媒介感染症上級 専門家育成	2013	2015	インドネシア、ウガンダ、ベトナム、キルギス	帯広	帯広畜産大学原虫病研究センター
中央アジア・コーカサス地域 幹線道路沿線地域開発	2013	2015	カザフスタン、アルメニア、タジキスタン、キルギス、トルクメニスタン、 ウズベキスタン、アゼルバイジャン	札幌	(一社)北海道開発技術センター、 国土交通省北海道開発局
農業地域における経営力、マーケティング 強化による地場産業振興 (A)	2013	2015	アフガニスタン、アルメニア、エチオピア、コソボ、ザンビア、スーダン、 スリランカ、スワジランド、パキスタン、パレスチナ、マラウイ、モザンビーク、 モルドバ、東ティモール、タイ、タンザニア、ニカラグア、モロッコ、トルコ、 コロンビア、マレーシア、ミャンマー、ミクロネシア、バングラデシュ、 ガーナ、イラク	帯広	インサイトマネジメント(株)
農業地域における経営力、マーケティング 強化による地場産業振興 (B)	2013	2015	インド、ケニア、ジョージア、ジンバブエ、タンザニア、トルコ、ネパール、 バングラデシュ、フィリピン、ブルキナファソ、ペルー、アルバニア、カンボジア、 スワジランド、パキスタン、マケドニア旧ユーゴスラビア共和国、 南アフリカ共和国、エルサルバドル、ナイジェリア、アルメニア、アルジェリア、 ラオス、モンゴル、ザンビア、コートジボワール	帯広	インサイトマネジメント(株)
保護地域の協働管理を通じた持続的な 自然資源管理	2013	2015	アルバニア、ブラジル、アルゼンチン、インドネシア、マレーシア、コスタリカ、 マラウイ、東ティモール、トルコ、ケニア、パプアニューギニア、イラン	札幌	(財)自然環境研究センター
中央アジア・コーカサス地域 畜産物の衛生管理・品質管理	2013	2015	ウガンダ、アフガニスタン、ガーナ、キューバ、サモア、アゼルバイジャン、 アルメニア、キルギス、ジョージア、タジキスタン、ウズベキスタン、 パプアニューギニア	帯広	帯広畜産大学
アフリカ地域 アグリビジネスの振興と 農村開発	2014	2015	ナイジェリア、ソマリア、コンゴ民主共和国、マダガスカル、コートジボワール	札幌	(一社)滝川国際交流協会
アフリカ地域 地域保健担当官のための 保健行政 (A)	2014	2015	ケニア、タンザニア、スーダン、マラウイ、エリトリア、ガーナ、シエラレオネ、 アンゴラ、ケニア、ガーナ、ザンビア、エチオピア、ソマリア	札幌	旭川医科大学
官民連携による地域観光 マーケティング (A)	2014	2015	ネパール、ブータン、エチオピア、アルバニア、コソボ、 マケドニア旧ユーゴスラビア共和国、ミャンマー、ザンビア、セルビア、ラオス、 ヨルダン、ジンバブエ、ジョージア、インド	札幌	(公社)北海道国際交流・協力総合センター
参加型地域開発のための地方行政強化	2014	2015	ドミニカ共和国、パラグアイ、グアテマラ、パナマ、ホンジュラス、コロンビア	札幌	(公財)はまなす財団
生物多様性保全のための 環境教育技能向上	2014	2015	イラン、エクアドル、カンボジア、コスタリカ、ドミニカ、マレーシア、 中華人民共和国、コスタリカ、チュニジア、ケニア、パプアニューギニア、 マレーシア	帯広	(社)日本環境教育フォーラム
総合的な廃棄物管理 (全般) (A)	2014	2015	コスタリカ、ドミニカ共和国、ホンジュラス、グアテマラ、パナマ、メキシコ、 エルサルバドル、キューバ	札幌	(財)日本環境衛生センター
道路維持管理	2014	2015	アゼルバイジャン、ウクライナ、モルドバ、キルギス、タジキスタン、ジョージア、 アフガニスタン、ウガンダ、ネパール、ガーナ、インド、カンボジア、ギニアビサウ、 カメルーン、イラク	札幌	(一社)北海道開発技術センター、 国土交通省北海道開発局
母子栄養改善	2014	2015	イエメン、ウガンダ、エチオピア、ガーナ、ザンビア、ジンバブエ、マラウイ、 ラオス、ミャンマー	帯広	(財)ジョイセフ(家族計画国際協力財団)
上水道施設技術総合 (B)	2014	2015	モーリシャス、タンザニア、セントルシア、スリランカ、ミャンマー、シエラレオネ、 パプアニューギニア、南スーダン、ガイアナ、ナイジェリア、バングラデシュ、 インドネシア、チュニジア、ラオス	札幌	(公社)北海道国際交流・協力総合センター、札幌市水道局
農業情報活用のためのICT技術向上	2014	2015	カザフスタン、ザンビア、スリランカ、タイ、タンザニア、フィリピン、マラウイ、 南スーダン、ミャンマー、東ティモール、ホンジュラス、ガーナ	帯広	北海道中小企業家同友会とかち支部(一社)、 帯広畜産大学

TOPICS

研修の現場から | 滝川市

古くから国際交流・国際協力へ一丸となって取り組んできた滝川市。JICA研修員受入事業を活用し、同市の強みである農業分野で、地元農家の方々が研修員に対し稲作栽培や野菜栽培の技術指導を行っています。同事業の参加を通して、農家の方々から「技術支援を行うだけでなく、途上国の現状を理解したい」という声が上がリ、実際に研修参加国の一つであるマラウイ共和国を訪れるなど、市民の積極的な国際交流への参加のきっかけとなっています。





草の根技術協力事業

地方自治体や地域のNGO、大学などが、これまでに培ってきた経験や技術を活かして、開発途上国への支援活動をJICAと共同で実施する事業です。開発途上国の人々の生活改善・生計向上に直接役立つ分野で草の根レベルのきめ細やかな支援を行うため、現地への専門家派遣による技術指導、日本での研修員受け入れなど、北海道の「地域」と「草の根」の特色を活かした活動を、3つのタイプの草の根技術協力事業で実施しています。

草の根技術協力事業の事業形態

<p>地域提案型 地域経済活性化特別枠/地域活性化特別枠</p> <p>地域の技術経験を活かして</p> <p>地方自治体が対象 (実施は地方自治体が推薦するNGO等の団体でも可)</p>	<p>草の根協力支援型</p> <p>国際協力の第一歩を</p> <p>国際協力の経験が少ないNGO等非営利団体、大学、公益法人(法人格は問わないが国内外の活動実績が2年以上必要)が対象</p>	<p>草の根パートナー型</p> <p>豊富な経験を活かして</p> <p>国際協力の経験が豊富なNGO等非営利団体、大学、公益法人、民間企業(日本国の法人格を有し、開発途上国への国際協力実績が2年以上必要)が対象</p>
--	---	---

JICA北海道 札幌の実施事例

● 地域提案型				● 支援型			
対象国	案件名	期間	事業提案/実施団体	対象国	案件名	期間	事業提案/実施団体
モンゴル	北海道滝川市発一地方農民の収入向上を目指したアグリビジネス振興プロジェクト(高付加価値作物の生産と新しい農産加工品開発)	2017年1月～2020年1月	滝川市、(一社)滝川国際交流協会	ネパール	ネパール・サクーにおける農業の適正使用のための技術指導	2015年1月～2017年3月	農業開発研究会
モンゴル	ウランバルトル市送配水機能改善協力事業	2016年2月～2018年12月	札幌市水道局、(公社)北海道国際交流・協力総合センター	モンゴル	先天性股関節脱臼ハイリスク児の育児指導	2014年1月～2015年12月	公立大学法人 札幌市立大学
モンゴル	寒冷地における道路工事の品質確保プロジェクト	2014年10月～2017年3月	旭川市、旭川市国際交流委員会	モンゴル	モンゴル国寒冷地における建設工事の安全施工管理技術の向上プロジェクト	2013年11月～2016年10月	一般財団法人 北海道技術センター、一般社団法人北海道建設業協会
モンゴル	畜産資源利用による循環型農業確立および環境保全事業	2014年1月～2016年12月	新ひだか町、(株)エコエネルギーシステム	ラオス	農民参加型灌漑農業基本技術普及事業	2013年10月～2016年9月	大雪土地改良区
ベトナム	ベトナム・ハノイにおける即戦力IT人材育成のための教育環境強化事業	2014年1月～2016年12月	札幌市、(特非)札幌ITフロント	モンゴル	モンゴル国/バヤンホンゴル県における農業自給体制の実現をめざす農業指導者の育成事業	2011年6月～2014年5月	農業塾 風のがっこう
モンゴル	再生可能エネルギー(地中熱)省エネ施設園芸による野菜生産技術支援事業	2013年11月～2016年10月	北海道、空知エコ普及環づくり協議会	バングラデシュ	バングラデシュ国における健康増進のための予防歯科モデル事業	2009年2月～2012年1月	北海道大学大学院歯学 研究科
モンゴル	ウランバルトル市消防技術支援事業	2013年8月～2016年3月	札幌市消防局、ウランバルトル市消防技術支援事業実行委員会	フィリピン	聴覚障害教育における聴覚を活用した教育実施体制支援プロジェクト	2007年12月～2010年11月	フィリピン耳の里親会
モンゴル	ウランバルトル市植林技術支援事業	2013年6月～2016年3月	北海道、青いウランバルトル技術支援実行委員会	スリランカ	スリランカ国における生活習慣病対策:特に学校保健を活用した健康増進運動の推進に資するメディア戦略	2006年7月～2009年6月	(財)札幌がんセミナー
カンボジア	音楽教育を活用した教員の授業実践力向上プロジェクト	2011年7月～2014年6月	滝川市、滝川国際交流協会	● パートナー型			
モンゴル	寒冷地における都市開発技術改善事業	2011年6月～2014年5月	旭川市、旭川市国際交流委員会	ウガンダ	ムバララ県安全な牛乳生産支援プロジェクト	2016年～2019年度	(学)酪農学園
ネパール	ネパールにおける新・灯油代替燃料技術の支援と普及	2009年7月～2012年6月	東川町、NPO法人新エネルギー普及促進協会	フィジー	フィジー共和国レバカ地域におけるコミュニティを基盤とした遺産管理と観光開発のシステム構築	2014年6月～2017年5月	国立大学法人 北海道大学 観光学高等研究センター
中国	ハルビン市・寒冷地における省エネ対応住宅改善計画	2007年度～2009年度	旭川市都市建設部	サモア	初等理科教育における問題解決型授業の展開	2014年4月～2017年3月	国立大学法人 北海道教育大学
中国	瀋陽市・道路維持管理	2006年度～2008年度	札幌市建設局	マレーシア	キナバンガン川下流域の生物多様性保全のための住民参加型村おこしプロジェクト	2012年8月～2016年7月	(学)酪農学園
ブラジル	ブラジル南部リオ・グランデ・ド・スル州のエキノコックス症流行地における感染源動物対策推進事業	2004年度～2008年度	北方圏センター、北海道立衛生研究所				
中国	寒冷地における高齢者等対応建築改善計画	2004年度～2006年度	旭川市国際交流委員会	中国	消防行政	2003年度～2006年度	札幌市消防局
中国	マラウイ 畑作園芸技術普及促進事業	2003年度～2005年度	滝川市、滝川国際交流協会	マラウイ	畑作園芸技術普及促進事業	2003年度～2005年度	滝川市、滝川国際交流協会
インドネシア	農民参加型用水管理システム	2003年度～2004年度	旭川市、旭川土地改良区	中国	建設技術	2003年度	札幌市建設局

JICA北海道 帯広の実施事例

● 地域提案型				● 支援型			
対象国	案件名	期間	事業提案/実施団体	対象国	案件名	期間	事業提案/実施団体
モンゴル	生活習慣病予防と患者のセルフケア能力向上のための看護職人材育成事業	2017年1月～2019年12月	北見市、北見国際技術協力推進会議	ベトナム	ラムドン省ドックチョン郡における先進農業技術導入のための人材育成事業	2016年11月～2018年10月	一般社団法人 北海道ホームブランドベトナム交流協議会
タイマレーシア	フード/バレーとちかを通じた地域ブランドとハラル対応による産業活性化および中小企業振興プロジェクト	2016年1月～2019年1月	帯広市、帯広商工会議所	モンゴル	農産物等の流通改善および土壌改良による農業者の収益向上事業	2016年3月～2019年3月	帯広市、北海道中小企業家同友会とちか支部
モンゴル	北海道フード特区・フード/バレーとちか海外展開支援を兼ねた東南アジア食産業人材育成	2014年1月～2016年3月	帯広市、帯広商工会議所	モンゴル	農産物の安定供給のための貯蔵技術改善・普及プロジェクト	2014年3月～2016年6月	帯広市、北海道中小企業家同友会とちか支部
ベトナム	ベトナム水産物における衛生・品質管理向上のための人材育成と創産産水産加工品のPR事業	2014年3月～2016年2月	帯広市、帯広商工会議所	モンゴル	ウランバルトル市ゲル地区住民に対する地域保健活動のための看護職人材育成事業	2013年4月～2016年3月	北見市、北見国際技術協力推進会議
中国	十二徳堡郷における住民の健康向上のための女性リーダー育成プロジェクト	2009年11月～2012年3月	帯広市、とちかインターナショナル協会	中国	農村女性による住民参加型健康推進プロジェクト	2006年4月～2009年3月	帯広市、とちかインターナショナル協会
キルギス	寒冷地の土木開発(道路維持管理)	2007年4月～2010年3月	北見市、北見国際技術協力推進会議	ブータン	フォブジカ谷におけるオグロツル生息地帯の保全に係る環境教育等の実施・運営	2004年度～2005年度	釧路市、釧路国際ウェットランドセンター
中国	朝陽市農業振興計画	2003年度～2005年度	帯広市、とちかインターナショナル協会	中国	朝陽市農業振興計画	2003年度～2005年度	帯広市、とちかインターナショナル協会
キルギス	寒冷地における地域医療と保健衛生	2003年度～2005年度	北見市、北見国際技術協力推進会議	キルギス	寒冷地社会基盤整備工学	2002年度～2004年度	北見市、北見国際技術協力推進会議
キルギス	産業の変遷と地域振興	2002年度～2004年度	北見市、北見国際技術協力推進会議	キルギス	産業の変遷と地域振興	2002年度～2004年度	北見市、北見国際技術協力推進会議
ブータン	フォブジカ谷におけるオグロツル繁殖地の保全と環境教育の実施・運営	2003年度	釧路市、釧路国際ウェットランドセンター	ブータン	フォブジカ谷におけるオグロツル繁殖地の保全と環境教育の実施・運営	2003年度	釧路市、釧路国際ウェットランドセンター



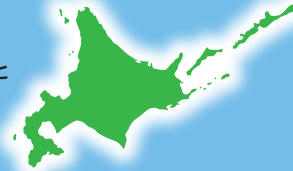
TOPICS

案件名 キルギス共和国における有機農業普及プロジェクト

提案 実施団体 バイオマスリサーチ株式会社

キルギス共和国では、旧ソ連崩壊後に農地の私有化・小農化が進められたものの、政府による農業技術や農業資材の支援が無くなったことで、土壌肥沃度が低下し、それに伴う農産物の収穫量減少が深刻な問題となっています。バイオマスリサーチでは、家畜ふん尿や農作物残差等のバイオマスを適切に処理し、農地へ肥料として利用できる堆肥づくりなどの技術指導と普及支援、有機農業による農産物の高付加価値への取り組みを行っています。





中小企業海外展開支援事業

2012年3月、日本政府による「中小企業海外展開支援大綱」の改訂により、JICAもオールジャパンでの中小企業海外展開支援プラットフォームに支援機関として加わり、2012年度よりODAによる中小企業海外展開支援事業を開始しました。同事業は、わが国の中小企業が有する優れた製品・技術等を途上国の開発に活用し、開発課題の解決に資するとともに、企業の海外展開を支援することを目的としています。道内では、北海道経済産業局、ジェトロ北海道、中小機構北海道、北海道庁等の支援機関や自治体、経済団体、金融機関等と連携して事業を実施しています。

● 基礎調査

採択年度	対象国	提案企業名	事業名
2016年度	タイ	(有)医療福祉科学研究所(美瑛町)	飲み込み機能と運動機能の回復に向けたリハビリテーション事業に関する基礎調査
2016年度	ベトナム	マルキ平川水産(株)(浜中町)	ウニ養殖及び生ウニ製品製造事業基礎調査
2016年度	モンゴル	(株)土合特殊農機具製作所(帯広市)	アイスシェルダーを用いた農畜産物低温貯蔵システムに関する基礎調査
2013年度	エチオピア	(有)タナベ(帯広市)	大型廃棄物の回収・再資源化サービス事業調査
2012年度	モンゴル	(株)高組(旭川市)	寒冷地向け省エネ型廉価住宅建設事業調査
2012年度	バングラデシュ	苫小牧北倉港運(株)(苫小牧市)、(株)三好製作所(室蘭市)	生産地から消費地への農漁業産品輸送改善事業調査

● 案件化調査

採択年度	対象国	提案企業名	事業名
2016年度	キルギス	サンゴ北海道(株)(恵庭市)	道路防災案件化調査
2016年度	モザンビーク	(株)岩根研究所(札幌市)	モバイルマッピングシステムを活用した適切な道路維持管理手法の導入に関する案件化調査
2014年度	ラオス	(株)旬豊野恵(旭川市)	高生産性・高付加価値農業の実現のための案件化調査
2014年度	インド	東洋農機(株)(帯広市)	自走式ジャガイモ収穫機普及に向けた案件化調査
2014年度	ポリビア	(株)レアックス(札幌市)	井戸診断による長寿命化に関する案件化調査
2013年度	タイ インドネシア	(株)シーイー・フォックス(千歳市)	海外高等教育機関と日系産業界が連携した人材育成基盤の案件化調査
2013年度	ケニア	エバーグリーン(株)(札幌市)	廃バッテリーリサイクルおよび環境マネジメントシステム構築案件化調査
2013年度	ベトナム	正和電工(株)(旭川市)	世界自然遺産ハロン湾における集めない・混ぜない分離する“分散型排水処理システム”を活用した水環境改善案件化調査
2013年度	インドネシア	(株)みどり工学研究所(札幌市)	携帯電話通信網を利用したリアルタイム・モニタリングシステム普及のための案件化調査

● 普及・実証事業

採択年度	対象国	提案企業名	事業名
2015年度	ポリビア	(株)レアックス(札幌市)	効果的な診断・改修による井戸の長寿命化普及・実証事業
2014年度	ベトナム	正和電工(株)(旭川市)	バイオトイレと新浄化装置を活用した環境改善技術の普及・実証事業
2014年度	タイ	(株)シーイー・フォックス(千歳市)	設計エンジニア育成eラーニングシステムを中心とした産学連携教育プログラムの普及・実証事業
2014年度	インド	東洋農機(株)(帯広市)	ジャガイモ収穫機普及・実証事業
2014年度	スリランカ	(株)ヒューエンス(帯広市)	旋回噴流式オゾン酸化法による汚水処理技術の普及・実証事業
2014年度	インドネシア	(株)みどり工学研究所(札幌市)	多目的ダム管理の効率化等に向けたリアルタイム監視システム(Sesame)普及・実証事業
2013年度	ナイジェリア	日東建設(株)(雄武町)	コンクリートテスター(CTS)を用いた土木構造物の点検技術の普及・実証事業

● 開発途上国の社会・経済開発のための民間技術普及促進事業

採択年度	対象国	提案企業名	事業名
2013年度	キルギス カザフスタン	(株)H1スター(千歳市)	広域酪農地域向け農業機械普及促進事業

● ニーズ調査(外務省委託事業)

採択年度	対象国	提案企業名	事業名
2013年度	インドネシア バングラデシュ モロッコ ヨルダン	(一社)北海道食産業総合振興機構(札幌市)、(株)道銀地域総合研究所(札幌市)	ポストハーベスト・ロス削減のための加圧加熱食品加工技術の移転に関するニーズ調査

TOPICS

案件名 モンゴル寒冷地向け省エネ型廉価住宅建設事業

提案 実施団体 株式会社高組

首都ウランバートルへの人口一極集中が著しいモンゴルでは、市民の半数以上が「ゲル」と呼ばれる簡易な住宅に住んでいます。ゲルでの暖房は石炭ストーブであるため冬の空気汚染は深刻で、気密性が低いため暖房エネルギーが浪費されていることとあわせて国家的な課題となっています。株式会社高組では、冬にはマイナス30度にもなる旭川市で培ってきた住宅建設技術や施工管理のノウハウを、同じく寒冷地のモンゴルでも生かし、現地の住宅の質の改善と大気汚染の解消に寄与すること、そしてその後のビジネス展開を見据え、現地法人を設立し首都の中所得者層をターゲットに高品質のアパートを建設し販売を開始しました。



JICAボランティア事業

JICAボランティア事業は、日本政府のODA(政府開発援助)の一環として、独立行政法人国際協力機構が実施する事業です。開発途上国または日系人社会からの要請に基づき、それに見合った技術・知識・経験を持ち、「現地の人々のために活かしたい」と望む方を募集し、選考、訓練を経て派遣します。

青年海外協力隊

対象年齢：20歳～39歳

アジア・アフリカ・中南米・大洋州・中東の人々のために自分の持っている技術や経験を生かしてみたい。現地の人々と同じ言葉を話し、ともに生活・協働しながら開発途上国の国づくりのために協力します。

シニア海外ボランティア

対象年齢：40歳～69歳

日系社会青年ボランティア

対象年齢：20歳～39歳

中南米の日系人社会で、自分の持っている技術や経験を生かしてみたい。日系人、日系社会の人々と、ともに生活・協働しながら中南米地域の発展のために協力していきます。

日系社会シニアボランティア

対象年齢：40歳～69歳

青年海外協力隊 国別派遣人数

2017年3月9日現在派遣中

	国名	人数	人数割合
1	マラウイ	94名	4.62%
2	タンザニア	81名	3.98%
3	パラグアイ	76名	3.74%
4	マレーシア	73名	3.59%
5	フィリピン	69名	3.39%
6	ケニア	69名	3.39%
7	バングラデシュ	66名	3.24%
8	ガーナ	65名	3.20%
9	ポリビア	62名	3.05%
10	ザンビア	60名	2.95%

シニア海外ボランティア 国別派遣人数

2017年3月9日現在派遣中

	国名	人数	人数割合
1	パラグアイ	25名	8.65%
2	ブラジル	23名	7.96%
3	カンボジア	14名	4.84%
4	ポリビア	13名	4.50%
5	アルゼンチン	12名	4.15%
6	チュニジア	11名	3.81%
7	ウルグアイ	11名	3.81%
8	ネパール	10名	3.46%
9	ラオス	9名	3.11%
10	モンゴル	9名	3.11%

青年海外協力隊 職業別派遣人数

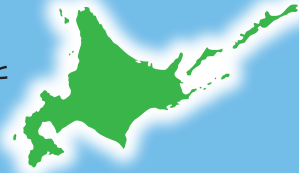
2017年3月9日現在派遣中

	職種名	人数	人数割合
1	看護師	131名	6.44%
2	理数科教師(旧)	130名	6.39%
3	日本語教育	123名	6.05%
4	コミュニティ開発	98名	4.82%
5	小学校教育	93名	4.57%
6	自動車整備	73名	3.59%
7	幼児教育	64名	3.15%
8	コンピュータ技術	57名	2.80%
9	家畜飼育	47名	2.31%
10	助産師	47名	2.31%

シニア海外ボランティア 職業別派遣人数

2017年3月9日現在派遣中

	職種名	人数	人数割合
1	日本語教育	45名	15.57%
2	農業生産技術(旧)	19名	6.57%
3	ソーシャルワーカー(旧)	13名	4.50%
4	文化	12名	4.15%
5	野菜栽培	8名	2.77%
6	家畜飼育	8名	2.77%
7	農畜産物加工(旧)	7名	2.42%
8	都市計画	6名	2.08%
9	経営管理	6名	2.08%
10	環境教育	6名	2.08%



ボランティア派遣実績

1965年～2016年度

累計
派遣人数
2,113名



TOPICS

青年海外協力隊 上井 雄太さん 赴任地 フィリピン 職種 野菜栽培

青年海外協力隊としてフィリピンのティウィという町で、有機栽培技術の普及啓発・推進する活動をしました。派遣先では、有機野菜の普及活動として現地スタッフと協働し、デモファームの設置や家畜のふん尿、生ごみ等を有機肥料として活用する仕組みなどのセミナーを開催。派遣当初は、言語や文化の違いに苦労しましたが、コミュニケーションを増やすことを心がけ、結果的に多くの仲間ができました。現在は、岩見沢市の地域おこし推進員として、東部丘陵地域の魅力を地域内外に発信するため、地域紹介マップの制作や地域サロン等イベントの開催を行っています。JICAボランティアで培った経験や人脈が地域活性化の架け橋になればと思っています。



振興局名	市町村名	ボランティア派遣人数 (シニアボランティア)
石狩振興局	札幌市	782名(115名)
	江別市	56名(11名)
	千歳市	42名(4名)
	恵庭市	40名(1名)
	北広島市	27名(4名)
	石狩市	25名
	当別町	8名(2名)
	新篠津村	0名
	夕張市	1名
	岩見沢市	54名(5名)
	美瑛市	4名
	芦川町	7名
	赤平市	3名
	三笠市	7名
	滝川市	12名(1名)
空知総合振興局	砂川市	5名(1名)
	歌志内市	1名
	深川市	11名(2名)
	南幌町	9名
	奈井江町	0名
	上砂川町	0名
	由仁町	1名
	長沼町	6名(1名)
	栗山町	5名
	月形町	1名
	浦臼町	0名
	新十津川町	4名
	妹背牛町	2名
	秩父別町	3名
	雨竜町	1名
後志総合振興局	北竜町	1名
	沼田町	2名
	幌加内町	2名
	小樽市	65名(2名)
	島牧村	0名
	寿都町	2名
	黒松内町	0名
	蘭越町	1名
	二セコ町	0名
	真狩村	2名
	留寿都村	0名
	喜茂別町	3名
	京極町	1名
	倶知安町	6名(4名)
	共和町	4名
岩内町	8名	
泊村	1名	
神恵内村	0名	
横丹町	0名	
古平町	2名	
仁木町	6名(1名)	
余市町	6名	
赤井川村	0名	
室蘭市	32名	
苫小牧市	48名(6名)	
登別市	19名(3名)	
伊達市	20名	
豊浦町	2名	
洞爺湖町	7名(1名)	
安平町	3名	
むかわ町	5名	
社務町	2名	
白老町	12名	
厚真町	2名(1名)	
日高振興局	日高町	3名
平取町	4名(1名)	
新冠町	2名	
浦河町	2名	
様似町	2名	
えりも町	3名	
新ひだか町	5名	

振興局名	市町村名	ボランティア派遣人数 (シニアボランティア)	
渡島総合振興局	函館市	96名(10名)	
	松前町	7名	
	福島町	1名	
	知内町	0名	
	木古内町	0名	
	七飯町	10名(1名)	
	鹿部町	1名	
	森町	5名	
	八雲町	3名	
	長万部町	2名	
檜山振興局	北斗市	13名(2名)	
	江差町	0名	
	上ノ国町	2名	
	厚沢部町	2名	
	乙部町	0名	
	奥尻町	1名	
	今金町	2名	
	せたな町	5名(1名)	
	上川総合振興局	旭川市	106名(8名)
		士別市	7名
名寄市		4名(1名)	
富良野市		12名(1名)	
鷹栖町		2名	
東神楽町		5名	
当麻町		4名	
比布町		1名	
愛別町		1名	
上川町		5名	

振興局名	市町村名	ボランティア派遣人数 (シニアボランティア)	
留萌振興局	留萌市	6名	
	増毛町	3名	
	小平町	1名	
	苫前町	1名	
	羽幌町	3名	
	初山別村	0名	
	遠別町	1名	
	天塩町	0名	
	稚内市	13名	
	猿払村	2名	
宗谷総合振興局	浜頓別町	1名	
	中頓別町	0名	
	枝幸町	2名	
	豊富町	2名	
	幌延町	3名	
	礼文町	0名	
	利尻町	1名	
	利尻富士町	0名	
	オホーツク総合振興局	北見市	41名(6名)
		網走市	13名(2名)
紋別市		7名	
美幌町		7名	
津別町		3名	
斜里町		3名	
清里町		2名	
小清水町		3名	
訓子府町		2名(1名)	
置戸町		5名	

振興局名	市町村名	ボランティア派遣人数 (シニアボランティア)
十勝総合振興局	帯広市	68名(11名)
	音更町	21名(5名)
	士幌町	4名(2名)
	上士幌町	1名
	鹿追町	1名
	新得町	1名
	清水町	3名
	芽室町	7名(1名)
	中札内村	4名
	更別村	2名(1名)
釧路総合振興局	大樹町	3名
	広尾町	1名
	池田町	4名
	豊頃町	0名
	本別町	3名
	足寄町	1名
	陸奥町	0名
	浦幌町	1名
	幕別町	19名(1名)
	釧路市	56名(5名)
根室振興局	釧路町	3名
	厚岸町	3名
	浜中町	0名
	標茶町	6名
	弟子屈町	4名(1名)
	鶴居村	0名
	白糠町	2名
	根室市	11名
	別海町	2名
	中標津町	14名(2名)
標津町	1名	
羅臼町	0名	
合計	2,113名(229名)	

TOPICS

シニア海外ボランティア
清水 直美さん

赴任地 ネパール、ラオス、インドネシア、カンボジア
職種 途上国の看護師育成と看護管理業務の強化

国際協力に興味を持ったのは、勤務していた大学病院でマレーシア人看護研修生と出会い、海外の看護現場を見てみたいと思うようになったのがきっかけです。1984年に初めて青年海外協力隊としてネパールに派遣され、その後シニア海外ボランティアとしてネパール、ラオス、インドネシア、カンボジアの合計5回ボランティアに参加して、病院で現地の看護師と看護の改善や組織作り、人材育成に取り組みました。初めて派遣されたネパールでは当時、テレビも冷蔵庫もない停電の多い生活でしたが、現地の方々より親密にかかわることができた時代でした。JICAボランティアとしてかかわった国々で多くの経験を積むことで、自分の中にたくさん「引きだし」(情報や対応策)を持つことができ、相手の思いや、希望に沿った支援をしていくことができるようになって実感しました。





●札幌

JICA 北海道 国際センター

20年 の軌跡



●帯広



JICA北海道国際センター(札幌/帯広) 設置にいたるまでの略歴

- 1964 海外移住事業団北海道事務所発足
- 1973 海外移住事業団「北海道支部」に名称変更
- 1974 特殊法人国際協力事業団(JICA)設立に伴い、「JICA北海道支部」に変更

1996-1999

1996 道内を基盤とする国際協力事業の高まりにあわせ、海外からの研修員の宿泊と研修施設を有する「JICA北海道国際センター(札幌/帯広)」として札幌と帯広の2か所にセンターを設置

1996 教師海外研修開始
高校教諭:タンザニア(1名/10泊11日間)
中学校教諭:ラオス(2名/6泊7日間)

1996 センター図書資料室の一般開放の開始

1996 高校生を対象としたプログラムの開始
高校生ODA実体験プログラム(2泊3日間/参加校5校)
※1998年度に「高校生国際協力実体験プログラム」へ改称

1997 地方自治体連携事業開始

1997 市民団体、学校等の依頼に応じたJICA事業についての講師派遣を開始

1997 帯広研修員
過去1年間で100名以上達成

1998 国際理解教育・開発教育セミナーの開始(帯広)

1996 1999 この頃の技術研修員受入の例

- 札幌
- 地域開発計画管理セミナー
 - 寒冷地水道技術

- 帯広
- 酪農振興・検査技術
 - 湿地環境及び生物多様性保全
 - コロンビア土地区画整理事業

2000-2002

2000 札幌研修員
過去1年間で300名以上達成

2000 地域開発の研修員受入に関する調査実施(札幌)

2001 開発教育指導者研修の開始(札幌)

2002 草の根技術協力事業の開始

初期の事業例

- 札幌 畑作技術および農民組織(2名受入/約4か月/マラウイ)
- 帯広 寒冷地社会基盤整備工学(2名派遣/約2週間/キルギス)

2002 地域交流イベント「世界のともだち」の開始(帯広)

2000 2002 この頃の技術研修員受入の例

- 札幌
- アジア農林参加型用水管理
 - マラウイ農村振興セミナー

- 帯広
- 上級原虫病研究
 - 小学校における理科実験教育(南西アジア諸国)



2003-2005

2003 行政改革の一環により特殊法人国際協力事業団から独立行政法人国際協力機構に変更(英文略称は「JICA」を継承)

2004 JICA内での組織改編により、「独立行政法人国際協力機構 札幌国際センター/帯広国際センター」に変更

2004 地域交流イベント「見聞広場」の開始(札幌)
※2013年度に「世界ふれあいひろば」へと改称

2005 帯広畜産大学と連携協定を締結

2005 北海道大学と連携協定を締結

2003 2005 この頃の技術研修員受入の例

- 札幌
- 母子保健人材育成

- 帯広
- 畜産物の利用と保蔵技術
 - 東欧農産物市場経済

2005 研修員受入れ人数
札幌・帯広
累計5,000人突破



2006-2008

2007 北海道の地域特性の国際協力への応用調査実施(札幌)

2008 札幌研修員
過去1年間で500名以上達成

2008 国際協力銀行(JBIC)の海外経済協力業務の円借款業務をJICAが継承

2007 日系研修員受入拡大(札幌)

2008

2006 2008 この頃の技術研修員受入の例

- 札幌
- 初等理科教授法
 - アフリカ安全な水供給

- 帯広
- 農業情報システム
 - 地域流域環境管理



ありがとう20年、
これからも共に世界と
JICA北海道

2009-2016

2010 帯広研修員
過去1年間で300名以上達成

2012 札幌国際センターと帯広国際センターを統合し、「北海道国際センター」となり、それぞれ「北海道国際センター(札幌)」「北海道国際センター(帯広)」と呼称

2012 中小企業の海外進出等の支援開始

2015 北海道における地域振興・産業振興に関する調査実施(札幌)

2014 大学院への長期研修員の受入プログラム

2016 アフリカの若者のための産業人材育成イニシアティブ(ABEイニシアティブ)・資源の絆(鉱業系人材育成)、太平洋島嶼国リーダー教育支援(Pacific-LEADS)

2009 2016 この頃の技術研修員受入の例

- 札幌
- アフリカ地域保健担当官のための保健行政
 - 中南米参加型地方行政

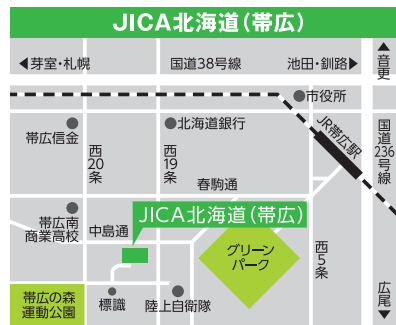
- 帯広
- 母子栄養改善
 - 中央アジア・畜産物の衛生管理・品質管理

2012 研修員受入れ人数
札幌・帯広
累計10,000人突破





●地下鉄東西線 南郷18丁目駅から徒歩約10分
〒003-0026 北海道札幌市白石区本通16丁目南4-25
TEL.011-866-8333(代表)



●JR帯広駅から
【拓殖バス】「帯広の森線」西19条6下車、徒歩約15分
【十勝バス】「環状線きた回り」西20条6下車、徒歩約5分
〒080-2470 北海道帯広市西20条南6丁目1-2
TEL.0155-35-2001(代表)

JICA 北海道

検索

<https://www.jica.go.jp/sapporo/>

<https://www.jica.go.jp/obihiro/>

独立行政法人 国際協力機構 北海道国際センター (JICA北海道)